

黎明

黎明（れいめい）とは夜が明けること。
姫路市政に新風を吹き込み、
夜明けのような市民参加の市政実現に、
共に手を携えていこうではありませんか。

＜自宅事務所＞

姫路市四郷町見野 918-5
TEL:079-253-0030
FAX:079-253-2940
ふくしまる

＜後援会事務所＞

姫路市四郷町見野 888
TEL:079-253-7000
FAX:079-253-8900

最新の活動報告などは [竹中隆一 ホームページ](#)

検索

E-mai:ryuchan.1954@ezweb.ne.jp *携帯のみ送信可

竹中隆一議員と元気な町をつくらう！

竹中隆一議員は10代の時から様々なボランティア活動に励んできました。青年団や洋上大学、地域の社会活動、そして労働組合の活動にも取り組みました。また、子供達が小さいときには保育所保護会や学校PTAの役員も務めました。現在は、地区自治会長と農区総代を25年間、校区連合自治会長を7年間、見野古墳群保存会も結成から10年間会長を務めています。勿論、長年の議員歴により市内各種団体の役員も数多くつとめています。竹中隆一議員は市民の方々と寄り添って、共に汗を流すことによって元気な町づくりに貢献しています。選挙のためではなく本当に地域の人を愛する、まさに地域コミュニティの達人です。

竹中隆一議員と

地域コミュニティの復活を図ろう！

近年、日本社会は少子高齢化の影響で地域の自主活動が停滞したり、買物難民や限界集落が現れています。具体的には子ども会や婦人会が解散したり、自治会や生涯クラブなどの役員の選出に困ったりしています。どこの地域でもお年寄りだけの家族が増え、日常生活に不安を感じています。そこで、地域社会のコミュニティを活性化させ元気な町、楽しい近隣社会をつくらねばなりません。そうすれば災害などの発生にも地域の力で立ち向かう事が出来ます。そこで、これらの活動を市役所が後押しする事が今まで以上に必要になっています。32年の長い議員歴だけでなく、ボランティア活動歴45年の実践が竹中隆一の政策を支えています。



2014年11月2日、実行委員長をつとめる「古墳祭り」を開催しました。



2015年1月18日、実行委員長をつとめる「姫路古墳ロード歩こう会」を開催しました。

Refresh Himeji 竹中隆一 5つの約束!

～最近の取り組みと今後の展望～（2月8日、事務所開きにて）

1. 住民に寄り添って共に汗を流し、あらゆる相談に対応します

- (1) 地域コミュニティを復活させ、元気な町をつくります。
- (2) 親しみやすい相談活動を継続し、困っている方を助けたい。（年間 1,000 件の実績）
- (3) 昨年のゆかたまつりは露天商が激減して、寂しいまつりになりましたが、賑わいのある祭りに復活させます。
- (4) 姫路の皮革を使って姫路城三の丸広場でファッションショーを実現させます。



2月8日 事務所開き

2. 勇気をもって、市役所のムダを徹底的になくします

決算委員会で市役所の無駄を徹底的に追及。①自販機設置の入札（約 2700 万円）、②新聞購読の適正化（約 800 万円）、③出先機関の職員駐車の有料化（約 4700 万円）、④職員手当での削減（約 7700 万円）、などタブーに斬り込み、税金の無駄遣いをなくしています。今後とも市政刷新の先頭に立ちます。

3. 自由民主党の地域代表として、国、県とのパイプを生かします

兵庫県地方議員連絡協議会（自民党）副会長として、姫路市だけでなく、県や国にも人脈が広がっており、播磨臨海地域道路の推進などにも力を注いでいます。市川の農業用水路の大規模な改修も国とのパイプを生かし早期に実現しています。国の地方創成事業は姫路市の飛躍を囿るチャンスです。これまでの太いつながりを生かしていきます。



事務所開きには大勢の方にご参加いただきました

4. 市長とは是々非々で変な妥協はせず信念を貫きます

今や地方議会は「学芸会」とも揶揄される程、市長や役人との馴れ合い政治だと言われています。議会は市長に対しては、常に是々非々を貫くべきであり、大いに政策論争をしていきます。

5. 常に調査と研究を進め、議会の政策能力を高めます

ベテラン議員として議会改革に尽力。中学生までの医療費無料化の意見書を提出、可決！このことにより中学生までの医療費無料化が実現しました。（所得制限あり）
斬新なアイデアと実行力で改革の先駆者であり続けます。
県議会の政務活動費問題でも自民党県連に意見を提出しました。

子ども達を安心して育てられる社会に!



竹中隆一が前進させました!